

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組 のうち選択者

使用教科書：（「国語表現」（大修館書店） / 補助教材「国語表現 基礎練習ノート」（大修館書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの進路希望に即しつつ、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	言葉と表記	<ul style="list-style-type: none"> 表記の決まりを意識し、正しく書く。 漢字や慣用表現を正しく使う。 	○			【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断し、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	整った文を書く 相手に応じた言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> 係り受けについて理解する。 文末表現について理解する。 敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 	○	○		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くこととおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けられている。【(1)イ】 ・語彙の量を増し、語や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けられている。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉遣いを使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	文のつなぎ方 実践トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 接続表現の種類と働きを理解する。 文脈による文のつながりを理解する。 言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 原稿用紙の使い方を理解する。 	○			【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現がイイ」を解くこととおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	32
	小論文とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の基本的な書き方を理解する。 意見を筋道を立てて書く。 原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 	○	○		【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	論文を書くために	<ul style="list-style-type: none"> 論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。 	○	○		【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16

2 学 期	<p>志望理由を書こう</p> <p>自己推薦書や学修計画書を書く</p> <p>面接にチャレンジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 志望先についての情報を適切な方法で集める。 調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。 志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 適切な言葉遣いで書類を書く。 適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。 	○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】 「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。【B(1)エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。【(1)イ】 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】 「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。【B(2)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。【(1)イ】 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。【A(1)エ】 「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。【A(2)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。 	○	○	○	40
3 学 期	<p>エッセイを書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読者を意識し、ほかのエッセイを参考にしながら、構成、文体、表現などを意識してエッセイを書く。 書き上げたエッセイを読み返し、ほかの人の意見なども取り入れて推敲する。 	○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、読み手を案じさせるよう、さまざまなエッセイを参考にしながら適切な題材を決め、文章の構成や展開を工夫している。【B(1)ウ】 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特色や課題をとらえ直したりしている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 エッセイを書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	16
合計									
140									